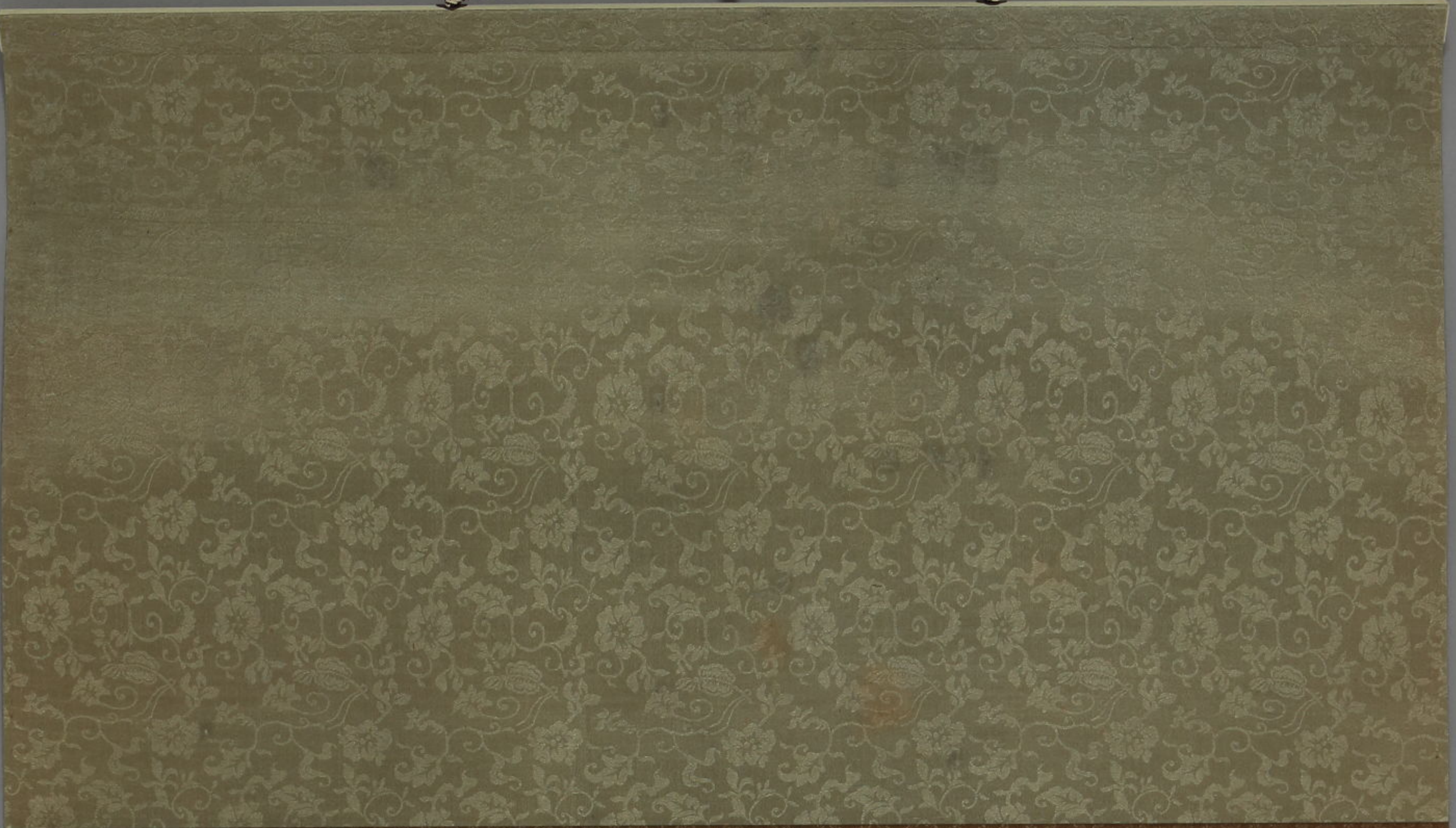
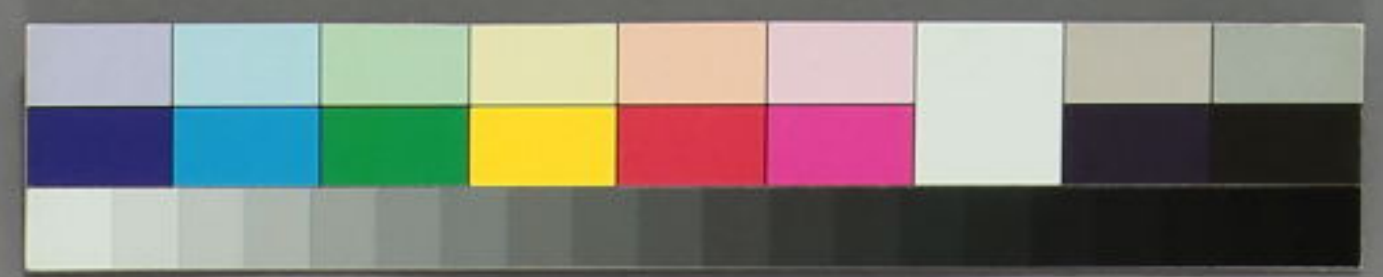




甚老衰し
 筆硯度業了
 片紙も書けず
 先年 反故の中
 ありし 常一
 つれづれ 山水
 便に 山水
 云々 相
 田部 氏
 出 氏
 上 氏
 光景 氏
 何れ 氏
 朱氏 氏
 けす 氏
 若者 氏
 自 氏
 顔 氏
 折 氏
 右 氏
 書 氏





甚老衰し
 筆硯廢業了
 所記及此の書
 ありし第一女
 つれなき山水
 後これに
 云ふが如く
 笛吹の海軍
 出づれば
 大伴京海
 光景を
 何れも
 何れも
 朱印
 けすたれ
 吾君
 白
 顔
 折る
 右
 書

